

京都労山

2024年8月号

No. 374

発行日

2024年7月16日

発行所: 京都府勤労者山岳連盟 発行者: 中村好夫 編集製作: 機関誌委員会 発行: 毎月第3月曜日

所在地: ☎.616-8042 京都市右京区花園伊町4 ☎.075-275-0453 FAX.075-468-1793

【ホームページアドレス】 <http://www.dab.hi-ho.ne.jp/kyoto-rozan>

【Eメールアドレス】 kyoto-waf@dab.hi-ho.ne.jp



京都府勤労者山岳連盟

京都労山『六つの合い言葉』

- (一) 私達は、山を勤労者の身近なものにする為に力を合わせよう。
- (二) 私達は、登山によって健康な身体と豊かな心を育てよう。
- (三) 私達は、登山によって助け合う心と友情を深めよう。
- (四) 私達は、多くの人達と交流し山を愛する仲間を増やそう。
- (五) 私達は、力を合わせ正しい山のモラルと高い技術を生み出そう。
- (六) 私達は、安全で確実な登山思想を身につけよう。



7月号目次

- * 六つの合い言葉・目次
- * ステップアップ・・・・・・・・・・・・・ 遭難対策委員会・・・01
- * 事務局長会議報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・02
- * 自然保護セミナーの案内・中池見湿地視察報告・・・・・・・・・・03
- * 全国自然保護講座の報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・05
- * 第16回初級登山学校募集案内・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・09
- * 第16回初級登山学校日程表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
- * 山 and アルパイン連絡会の報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
- * 連盟交流会の案内第2弾・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
- * 大文字山登山道整備の案内・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13
- * 大文字山登山道整備の報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14
- * 能登半島地震被災者支援活動報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16
- * JWAF フェスみずがき実施要項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・18
- * 全国登山道シンポご案内・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・21
- * 連載企画・日本二百名山登頂・第39回御座山・・・・・・・・・・・・・23
- * 連載企画・日本二百名山登頂・第40回白石山・・・・・・・・・・・・・24
- * 8月号の案内・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・25
- * 連盟月間予定表「カレンダー」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・裏表紙

全国遭難対策担当者会議が7月6日に全国連盟事務所において開催され参加しました。2023年度の事故発生件数は366件と、過去最高となっています。2020年にコロナの影響で減少したものの、それ以前と比べ増加のペースが上がっています。この2年間の特徴では、12時から14時に発生した下山時の転倒骨折事故が増加しています。この点を踏まえて、労山顧問の山本正嘉先生より「安全・快適・健康的な生涯登山を実現するために3つのポイント～山での上手な歩き方と普段からのトレーニング～」をテーマに講演がありました。3つのポイントとは、①山でゆっくり、かつ上手に歩く②軽登山を励行する（週に1回、3時間程度の半日登山が効果的）③日常では、筋力やバランス能力のトレーニングが重要 の3点です。

明日からでも実践できる事として、①を紹介します。登りのハイペースで筋肉を痛めると、下りで脚を支えることが出来なくなり、転倒骨折に繋がります。1時間に300mの登高ペースを提唱されました。目安とすれば、口を閉じて鼻だけの呼吸で登れるペースを守ること。大きな段差を越えるときには、正面から最短距離を上がるのではなく、斜めに距離を使って登る工夫が最大筋力に至らない上手な登り方です。

詳しくは、今年5月に上梓された山本顧問著「登山と身体の科学」講談社ブルーバックシリーズ定価1210円に詳しく紹介されています。参照の上実践されてはどうでしょうか。

昨年も7名の仲間が命を落としています。死亡者ゼロは悲願です。そのうちの1人は、下山中に道迷いで6m 20cmロープをすがって急傾斜地を下る際に耐えきれず滑落して亡くなりました。簡易ハーネスに連結していれば亡くならずすんだ事故です。非常用装備を使うシチュエーションでは安全を確保するためにどんな使い方をするのか。事前にパーティ内で意思統一が必要かと思います。これから、夏山シーズンを迎え山行がたくさん計画されていると思います。楽しかった夏山の報告が聞かれるよう、みなさんの安全登山を祈念します。

新救助隊準備会代表 坪山 芳樹

事務局長会議報告 (各会と連盟の活動報告・意見交換・情報交換を目的に開催)

7月度会議：WEB 労山,西山,左京,やましな,乙訓,右京,洛中,山城 亀岡 9人

各会の活動状況(前月の例会や集いの実施状況・予定等)[各会・クラブ機関誌参照]

・[右京]<例会>6/16 公開ハイク音羽山～醍醐寺 12人,16 金比羅クライミング2人<予定>7/14 リベンジ能勢「妙見山」(初谷溪谷コース),21 武奈ヶ岳～釣瓶～地藏山<その他>集い 6/27 テーマ「リーダーのあり方」7月自分の安全を守るロープ

・[やましな]<例会>6/16 大文字山登山道整備 5人,27 船岡山周辺ランチと俳句10人<予定>7/13 応急処置・ロープワーク・読図勉強会,13～17 苗場山・平標山<その他>11月バスハイク予定(高知県),40周年記念誌・近場でゆっくり交流(案)、ヒヤリ大普賢岳ピストンの予定を周回コースへ変更。ヒュッテ到着がPM8になる。

・[西山]<例会>6/9 新入教室、午後から第2回山行計画会議 41人,16 初級セミナー実技愛宕山 25人<予定>7/27～28 初級セミナー修了山行伯耆大山 25位参加予定<その他>初級セミナー参加者7人入会。3人退会 会員144人(男45,女99)

・[左京]<例会>6/4～6 九重・阿蘇山4人,奈良・学能堂山2人<予定>7/28 比良・ヤケ山<その他>6月26日左京労山総会+夏山について15人、高齢化対策

・[乙訓]<例会>6/8 夏山トレ武奈ヶ岳9人,15 岩稜歩き金比羅山5人<予定>7/18～20 中央アルプス5座,22～24 霞沢岳,8月2～4 夏山集中穂高・槍方面。3コース24人参加予定<その他>6月9日第56期総会50名+40委。長岡京市熊情報有

・[伏見]<例会>6/1日11人,8日9人,22日11人Y懸尾根岩トレ3回,22 愛宕山(八丁尾根8人<予定>7/14 伏見山の会搬出訓練,27～29 白山集中登山15周年記念登山<その他>運営委員に4名新しい会員が参加予定。

・[洛中]<例会>6/16 登山入門教室武奈ヶ岳受講生16人+スタッフ21人<予定>7/19～21 夏山集中登山(上高地・槍・穂高)9コース44名参加予定。3名～7人でパーティを組む。パーティ毎にトレーニング。八坂観光大型バス利用。

・[山城]<例会>6月2日定期総会15人。75歳3名退会。役員の交代実施。

・[亀岡]<例会>京都トレイル4人、亀岡トレイル5人、夏山燕山荘遠征10人。

連盟の取り組み、活動報告 (連盟の取り組みや活動状況を連盟事務局から報告)

- ・7月5日(金)夏山/アルパイン連絡会。リモート併用。今回1回目。情報交換。
- ・6月30日 イン谷での崖崩れと長岡京市での熊目撃情報。
- ・第16回初級登山学校要項と日程決定。今年は、若手補助講師数名が数名参加。必修事項として初級卒業後に1年間救助隊員として登録。主催者賠償保険を活用する。
- ・ハイキングリーダー養成テキスト「ハイキングセカンドステップ第5版」完成。全国のHP参照。一般価格500円、労山会員400円。30部以上まとめて350円。

次回8月6日(火)の事務局長会議は休会。報告のみとします。

～2024 年度 京都労山自然保護セミナー案内～ 自然保護委員会
連続テーマ「北陸新幹線延伸計画の環境問題を考える」

今年は ～～中池見湿地の取り組みに学ぶ～～

3 月に開業した北陸新幹線敦賀駅から金沢方面へ 2 km の距離にある中池見湿地はラムサール条約締結湿地です(2016 年締結)。そのエリア内を通る北陸新幹線深山トンネルの工事により、深山を集水域とする湿地内の沢水が枯れ、源流部や下流の水田に生息していた数種のトンボが見られなくなるという事態が起きました。これに対し、長年湿地の保護に係わってこられた地元の NGO「中池見ネット」などと日本自然保護協会(NACS-J)の働きかけにより、事業主体 JR TT は代償措置を取るに至りました。その経緯を、担当された NACS-J の福田真由子氏にお話いただきます。

現在計画中の敦賀駅から京都までの延伸ルートは、京都丹波高原国定公園の中央を縦断します。工事によって、環境や生物多様性の毀損を招くことがあってはなりません。由良川源流域を中心とした京都丹波高原国定公園の自然についても学習し、この計画の問題について考えたいと思います。

日時：2024 年 11 月 30 日(土) 13:30～16:30 頃

会場：京都教育文化センター 202 号室(定員 62 名)

(京阪電車神宮丸太町駅東へ・市バス東大路近衛通西へ共に 3 分)

講師：福田真由子氏(日本自然保護協会 生物多様性保全部)

参加費: 300 円 《WEB 併用で準備中》

京都労山のふるさとの山である北山の自然を、巨大工事の環境破壊から守るため、多くの会員の皆様のご参加をお待ちしています！(会員外の参加もちろん OK です)

◎中池見湿地現地報告◎ 2024 年 6 月 13 日(木)

テーマとして取り上げる中池見湿地は 2022 年に京都労山が自然観察会を催した場所です。今年度のセミナーに向けて現地を再訪し、長年保護と管理運営に携わってこられた「NPO 法人中池見ネット」の代表理事 上野山雅子氏にお話を伺い、上野山氏の案内で沢枯れが起こった現場など湿地を視察しましたので報告します。

*NPO 法人中池見ネット:2008 年設立。市民と共に湿地の健全で豊かな生態系を守り、中池見湿地を地域の生物多様性の象徴的空間として未来を生きる子どもたちに残していくことを目的とし、長年保護活動と管理事業を行う。中池見湿地の自然に精通。

*ラムサール条約『特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約』：中池見湿地は、①袋状埋積谷という特別な地形と厚く堆積した泥炭層②世界的に希少な渡り鳥「ノジコ」の重要な中継地③生物多様性の高さ(約 4000 種の動植物を確認)の登録基準により、2012 年、条約に登録された。

上野山氏談「北陸新幹線の深山トンネル工事が 2019 年に始まって間もなく、勝屋谷で沢枯れが始まった。生き残っている沢は 1 本だけ。タゴガエルの生息数が減り、沢沿いの植物の様子に変化が見られた。元通りには復活できない不可逆的ダメージだ。大阪ガスによる LEG 基地計画が中止となり 2005 年に湿地が敦賀市に寄付された後、2015 年に JRIT は湿地を通過する国の認可ルートを変更してきた。『20 万分の 1 の地図上で、1 本引いた鉛筆の線の幅に収まる軽微な変更ですよ』と言うが、それはすなわち現地で 150m も湿地エリア側に寄ることであり、とんでもない。NGO や NACS-J が要望書を提出、アセスは終了しているので事後調査検討委員会で検討した結果、環境影響に配慮する変更ルートに決定。モニタリング調査し専門家によるフォローアップ委員会で審議、影響を評価していく事となった。折しもラムサール条約事務局が来場、現地視察された。企業も環境抜きにはやっていけない時流となり、通称『お地蔵さんの沢』も枯れたが、JRIT はこの事態に対し代償措置をとることを決定した。JRIT は当初ポンプアップを考えていたが、ずっと動力が必要。誰が管理するのか、現実難しい。結局湿地から勾配を生かしてパイプで引水する方法となった。」

私たちが現地でパイプとモニターの機器が設置されている箇所を確認しました。

「結果、イモリやカエルがいなくなっていたのが、戻ってきた。しかし、水田に多く見られたモートンイトトンボが、工事後見られなくなっている。源流部では、アサヒナカワトンボやミルトンボが姿を消した。」上野山氏の案内で、沢から源流に向かって深山を登りましたが、登り始めに少し湿り気がある程度で、沢の形跡は全く無く、乾いていました。「代償措置として、今後は、大阪ガスが埋め立てた湿地の再生に向けて盛土撤去が始まるが、掘って見ないと元の湿地の状態はわからない。」

「この地域の湿地は中池見だけでなく、湿地を取り囲む山の北側に内池見、南側に余座池見があり、生息する昆虫類や水鳥は、中池見湿地が厳しい状態になっても、他の湿地に行っているかもしれない。しかしそちらでも水枯れが起こったら、住むところを奪われてしまい、致命的だ。」..取り組んでこられた道のりをお聞きしながら、湿地や集水域である深山を案内していただきまし



たが、大阪ガスの開発計画や新幹線工事に対し、諦めず粘り強く NACS-J と共に取り組まれたことに対し、現地でこそ実感できる重みを感じました。

左:湿地エリアに向かう北陸新幹線深山トンネル口

右:沢枯れのため干上がった水田 (引水により回復中)

第 26 回全国自然保護講座 in 千葉 報告

自然保護委員会 平尾繁和

- 6月15日(土)13時～16日(日)11時 於：千葉県南房総市 いとうRYO
- テーマ：「ネイチャーポジティブの実現が山の生物多様性を守る」
- 11都府県から31名参加（青森1・埼玉1・東京3・千葉10・静岡2・滋賀1・京都1・徳島1・全国2、日本山岳会2名（講師含む）、WEB（大阪1・奈良6）



山本自然保護委員長



野田千葉県連理事長



小池全国連盟事務局長

■ 記念講演

「山岳域のネイチャーポジティブの実現に向けて」

講師：下野綾子氏（東邦大学准教授、日本山岳会自然保護委員長）

（概要）

- ・日本山岳会は「ネイチャーポジティブ発展社会実現拠点」の共創の場形成支援プログラムに参画し、自然資本を適切に評価するために必要な観測網の整備、その動向の予測・評価のうち、山の生物多様性の観測に関わる。
- ・現代は生物の大量絶滅時代。生物多様性の取組として愛知目標（2011～2020年に達成すべき20の目標）ができたが、1つもきちんと達成できていない→2022年12月に「昆明・モントリオール生物多様性の枠組み」が採択され2030年までに達成すべき世界目標として「ネイチャーポジティブ」が決まった。ネイチャーポジティブとは、2020年をベースラインとし2030年までに自然の損失を停止、または反転させること。
- ・これまでの社会経済システムは生態系からの恵みを供給サービスとしてキャパシティ以上に強奪してきたが、非持続的な現在のシステムを見直し持続的な社会を目指して設定された国際的な目標がネイチャーポジティブ。
- ・投資家に聞く「リスク」アンケート結果（2024年）では、環境問題が上位4位まで入る①異常気象、②気候変動の転換点、③生物多様性の喪失と生態系の崩壊、④天然資源の不足・・・⑩汚染（大気、海洋等）
- ・山岳域の自然環境の変化 山岳域の多様性
地球の25%を占める山岳域に、地球の動物（哺乳類・鳥類・爬虫類・両生類）の87%が生息している。生息域の90%以上は山岳域である
- ・日本の高山植物 その起源と固有種
日本の高山植物は487種（128亜種を含む）で、そのうち239種が固有種であり固有率は49.1%と極めて高い。（日本の植物全体の固有種率は36%）
- ・日本のホットスポット1～10位（10kmメッシュ17万点で固有種割合を調査）1

～4位は島嶼（屋久島、小笠原等）、5～10位はすべて山岳域（夕張岳、北岳、アポイ岳、八ヶ岳、赤石岳、早池峰山）

・温暖化は高標高ほど進行する？

高標高地には調査地点が少なく、実測データが不足している。日本の高山帯はアクセスが困難で生物多様性観測が手薄な地域がほとんどだが、将来の温暖化の影響が最もしやすい生態系の一つとされる

・氷床、氷河の減少や樹木限界のシフト、低標高の種ほど分布を拡大する傾向があり、高山植物は追いやられる。アポイ岳の幌満お花畑では、マツの分布上昇で固有種が減少している

・ニホンジカの食圧による植生の衰退が深刻な問題になっている 剣山系三嶺の例

・登山者が産官学と協働し、生物多様性を観測する仕組みができ、山の生物多様性の保全・再生が実現することをめざしている

■話題提供 片山博之氏（全国自然保護委員 徳島県連）

「日本の環境省が推進するOECMの動向と山岳自然環境の保全にどのように貢献できるか」

①最近の環境を巡る世界の動向、②温暖化と生物多様性の動向、③山岳自然を保護保全するために何が必要か、

・1992年リオデジャネイロの地球サミットで、気候変動と生物多様性についてほぼ同時に、国連主導で大きな枠組みができている。

・生物多様性について日本では普及してこなかったが、ここ数年状況が変わってきた。2010年のCOP10での愛知目標が転機になった。

・2022年に愛知目標に代わる新たな目標設定「昆明・モンテリオール生物多様性の枠組み」ができた。それがネイチャーポジティブ、OECM

・SDGs とのかかわり

持続可能な開発目標、17の目標、169のターゲット

ウェディングケーキモデル 基盤に自然・生態系、その上の階層に社会、その上に経済があるというモデル。これまでは経済にしか目がいっていなかった。

「変革のアプローチ」に関する2つの重要な考え方、①相互関連性と②統合的解決 横のつながりで他のゴールへの影響を配慮する、気候変動対策と生物多様性対策の同時実施の必要性等

・SDGs ウオーシュへの対策 企業PRための利用されている側面

・ネイチャーポジティブ目標の実現のために

多様なステークホルダー（国民、産官学）のかかわり

30 by 30（陸と海のそれぞれ少なくとも30%を保護地域及びOECMにより保全する）目標の達成を目指す

OECMとは、国が法令で指定した保護地域（自然公園区域、鳥獣保護区等）以外の民間主導で生物多様性保全を主目的に管理されている地域等をさす

環境省は現在陸域で20%、海域で10%台の保護地域をOECMの制度化で推進するための検討をすすめている

評価できるデータ表示が必要、地域毎に生物多様性のデータを持つ

・徳島県での生物多様性地域戦略 徳島ビオトーププラン（生物圏）

OECDは山岳自然環境を保全するツールになりうる。既存の保護区とつなぐことでビオトープとしての生態学的なメリットと開発の抑止力になる。抑止力となる市町村との連携は欠かせないし、マスコミの活用も必須。そのためには継続的なモニタリングが有効である。



下野講師



片山全国自然保護委員



■ 地方連盟からの報告 2日間にかけ9地方連盟から報告があった。

- ・ 大阪：定点写真観察活動での大峰立ち枯れ復活の報告（ZOOM）
調査登山でNOxの影響で立ち枯れたトウヒ、ゴヨウマツ等の復活を確認
- ・ 奈良：奈良県連の取り組み（ZOOM）
グリーン（環境保護）ハイク、自然観察会、代替自然エネルギー問題、ちびっこ登り隊等
- ・ 千葉：千葉県の自然保護活動の現状
クリーンハイク、海岸プラスチックゴミ、登山道整備、メガソーラー問題、山砂利採掘
- ・ 東京：東京都連盟の自然保護委員会活動報告
クリーンハイク、自然観察会、アツモリソウ保護活動、トイレマナー、ペット用シートで携帯トイレを作った会（消臭袋5シートで100円）
- ・ 埼玉：埼玉県自然保護委員会の活動（2024年度）
足尾銅山跡地植樹・里山保全作業・貴重、希少な植物の保護活動への参加、登山道整備
- ・ 静岡：リニア問題について
- ・ 滋賀：滋賀山友会が関係する風力発電のその後
三十山間山、美浜新庄、余呉南越前ウインドファーム計画
- ・ 徳島：徳島における山岳自然環境の保全活動
クリーンハイク、剣山系のニホンジカ被害対策、風力施設に対する活動
- ・ 京都：京都の自然と環境を破壊する計画の見直しを！！
北陸新幹線京都延伸計画の現状と取り組み、丹後半島大型風力発電計画、八丁平を守る活動

■ 全体会議 3つのテーマについて意見交換会

- ① 山岳地域の希少種等をどう保護保全するか
- ② 気候変動の影響を考える（亜高山帯、高山帯の動植物減少、外来種問題等）
- ③ 山岳地帯の開発とどう向き合うか 各地の取組、生物多様性国家戦略をどう生かすか

地方連盟からの報告についての質疑、討論・交流を行った。

Q：アセスで天然記念物が見つければ止まるか

Q：OECMによる保護の具体例は

Q：メガソーラー計画隣接地の工事前の電磁波や気温等のデータはあるか

Q：シカの被害を防ぐ手立ては

青森：八甲田風力発電計画は反対運動が起き、140基が半分になった。景観、低周波騒音、道路開発。南八甲田の登山道整備は予算が少なく、現地まで5時間かかり業者がつかず藪化

千葉：キョン被害、レジャー施設の閉鎖に伴い野生化、数千～万匹？イノシシも増加

静岡：自然エネルギー講座が大阪で行われているので紹介。
案内を「JWAF ジャーナル」にも載せてほしい。



<感想>

気候変動と生物多様性の問題は、地球の未来、人類の生存にも関わる大きな課題として、国連のもとでCOPの会議が繰り返しもたれ、とりくむべき行動や目標が出されているが、日常的には身近でない存在だった。SDG'sについてはよく聞くが、「ネイチャーポジティブ」、「30 by 30」、「OECM」等の言葉や概念は、最近知ったところ。COP15を受け政府は生物多様性の国家戦略を定め、都道府県も多様性地域戦略で生物多様性センターを設けるなど取り組みをすすめているという。これらと私たちの日頃の自然保護活動とどうかわかり、また登山者としてどう取めるのかを考えていく必要を感じた。まず広い視野で国際的な目標や取り組みについてしっかり学び、具体的に身近に生じ関わっている環境、自然の課題を考えていくことが重要だと思った。

第16回初級登山学校 募集要項

コース	普通	講師養成
目的	①安全登山思想・基礎的登山技術を普及できるリーダーを育成する。 ②無雪期 3000m級山岳一般縦走のリーダーを育成する。	連盟教育活動を次世代に発展継承する人材を育成する。
到達目標	①無雪期 3000m級岩稜縦走の実践(西穂高岳から奥穂高岳の縦走など) ②冬季低山の縦走	①初級登山学校での実技コーチ ②独自分野での講座メニューの構築
募集人員	15名	若干名
受講料	35000円 ※1	15000円 ※1
受講資格	① 労山基金5口以上加入している者。	① 労山会員で労山基金10口加入している者。 ②初級登山学校修了又は教育遭対委員会が認める者。
申し込み	①申し込み用紙に必要事項を記入の上当委員会に提出すること。 ※2 ②受講者の確定はガイダンスで行う。	
必須事項	近畿協議会の雪崩講習会を受講する。 初級修了後1年間、救助隊員として登録する。	近畿協議会の雪崩講習会を受講する。
備考	搬出訓練・救急法は公開行事になる。	
受講者注意事項	① 講座および実技山行のときは講師および補助講師の指示に従う。 ② 実技山行及び修了山行をはじめ、連盟内で万一事故が発生すれば受講生は連盟救助隊と共に捜索救助活動に全力を挙げる。 ③ 実技山行及び修了山行において事故が発生した場合、捜索救助活動の費用は各人が加入している労山基金及び山岳保険並で対応し賠償を問われたときは連盟団体保険で対応する。これを越える費用は事故当事者の負担とする。	

※ 1 机上及び実技の交通費や宿泊料、テーピングの材料費等は含まない。

※ 2 申込用紙は、各会に配布する。受講希望者は必要事項を記入の上、所属会を通してFAXまたは郵送で、9月15日までに連盟に送付すること。京都労山HPからでも入手できる。申込用紙には所属会初級担当者についても記載すること。

※ 開講前、受講生を対象に9月26日(木)ガイダンスを開く。

※ メールにて受付も可

講師及び実技コーチ(予定、敬称略)

坪山芳樹(明峰)、川辺昭治(右京)、横井 功(明峯)、馬場重明(西山)、村上晃弘(洛中)、
坪山未来(明峰)、永田潤平(西山)、小川 繁<乙訓>、野元 修(伏見)、西田道明(乙訓)、
森久美子(乙訓)、梅若光明(乙訓)、椿原明子(洛中)、木地弘恵(西山)、岡本敬子(洛中)、
山田健太郎(洛中) 他

主催 **京都府勤労者山岳連盟**

〒616-8042 京都市右京区花園伊町4 Tel:075-275-0453 Fax:075-468-1793

問 合 せ 先: 教育委員会 山下建男 E-メール:yamasansan326@gmail.com

電話: 090-3184-8393

第16回初級登山学校日程表

2024年 10月6日(第一、日) 机上学習1 ＜　　　＞	9:00～9:20	開校式
	9:20～12:00	安全登山思想とパーティー論
	12:00～13:00	昼食
	13:00～15:00	リーダー論と目的論
	15:00～17:00	登山の歴史と労山運動
10月20日(第三、日) 実技1 ポッカトレ山行 <武奈ヶ岳北稜>		
10月27日(第四、日) 机上学習2 ＜　　　＞	9:00～12:00	読図と読図山行
	12:00～13:00	昼食
	13:00～15:00	無雪期実技山行の説明と装備
	15:00～16:30	雪山歩行技術
	16:30～17:00	積雪期実技山行の説明と装備
11月2・3日(土・日) 実技2 テント泊縦走登山 <比良全山縦走>		
机上学習3 (近プロ講習会)		
11月30日(第五土)	大阪労山事務所	10:00-17:00 登山者のための雪崩学
12月1日(第一日)	須磨浦海岸	10:00-17:00 ビーコン学習
12月8日(第二、日)	実技4	アイゼン・ピッケルワーク <リトル比良>
12月15日(第三日)	実技3	読図山行 <瓢箪崩山>
2025年1月11日～13日(土～月) 実技5 雪山生活と滑落停止及びビーコン(八ヶ岳)		
1月18日～19日(土～日) 実技6 近畿ブロック雪崩講習会(岐阜・大日岳)		
1月26日(第四日曜) 実技7 積雪期搬出訓練(主催:連盟救助隊)		
2月16日(第三、日) 机上学習4 ＜　　　＞	9:00～11:00	雲の話
	11:00～12:00	地上天気図
	12:00～13:00	昼食
	13:00～15:00	高層天気図1
	15:00～17:00	高層天気図2
3月8・9日(土日) 実技8 雪山テント泊と雪上歩行訓練<比良・八雲又は荒島>		
3月23日(第4、日) 机上学習5 ＜　　　＞	9:00～11:00	救急法
	11:00～12:00	応急処置
	12:00～13:00	昼食
	13:00～15:00	岩登り① 概念と装備
	15:00～17:00	岩登り② 確保技術
4月20日(第三、日)	実技9	岩稜縦走トレーニングとそのための技術①
4月27日(第四、日)	実技10	岩稜縦走トレーニングとそのための技術②
5月18日(第三、日)	実技11	岩稜縦走トレーニングとそのための技術③
5月24・25日(土・日)	実技12	夜間登山とビバーク
6月8日(第二、日) 机上学習6 ＜　　　＞	9:00～12:00	テーピング
	12:00～13:00	昼食
	13:00～15:00	遭難対策
	15:00～17:00	修了山行ミーティングと計画書
	6月15日(第三、日)	実技13
6月22日(第四、日)	実技14	無雪期搬出訓練(主催:連盟救助隊)
7月6日(第一、日)	実技15	岩稜縦走トレーニング⑤ <Y懸尾根から焼杉山>
7月13日(第二、日)	実技16	岩稜縦走トレーニング⑥
7月25日～27日(金・日)	実技17	修了山行「西穂高岳から奥穂高岳への縦走」 修了山行予備日は設定しない。
8月27日(水)	机上学習7 「まとめ」と修了式	

京都府勤労者山岳連盟

〒616-8042 京都市右京区花園伊町4 TEL075-275-0453、Fax075-468-1793

遭難対策部 (敬称略)

参加者 坪山(進行)、大江、西村(書記)、村上(洛中)、岩根(左京)

WEB参加 原田(洛中)、久貝(乙訓)、中村(田辺) 合計8人

① 挨拶(坪山)

春山、冬山連絡会はあったが、今年できた遭対部で初めて開催となった。

② 村上(洛中) 北ア 劔岳・北方稜線(劔沢→池の平→北方稜線→劔岳→劔沢) 劔岳のバリエーションルートを登り、登攀技術の向上を図る。

参加者 3名。8月9日~13日 劔沢にBCを作り池ノ平小屋泊。荷物の軽量化が鍵となる。前爪アイゼン8本~10本、ピッケルも軽い目にする。個人トレを中心とする。7月の洛中での夏山集中で、キレット目標メンバーが参加する。

③ 原田(洛中)

北穂高岳→涸沢岳・奥穂高岳。景色を楽しみながら、岩稜歩きの経験を積む。参加者3名。洛中の夏山集中の一環。横尾テン泊→北穂高山荘→奥穂高岳→涸沢小屋→横尾。細引き6ミリ20m。2種類あり、用途で選ぶ。17日から始まる洛中の集中登山9コース45名参加の一環のため、16日の夜に決める。現役にも参加してほしいため、予備日なし。

④ 中村(田辺) 黒部赤木沢。計画は決まっていないが、一般人でも行けるか教えてほしい。沢の経験者であれば、難しくなく、技術的には行ける。薬師沢小屋から出合までに深い徒渉もある。

⑤ 村上(洛中) 北ア、前穂高岳北尾根(岩稜マルチピッチ登攀)。クラシックなバリエーションルートを登り、登攀技術の向上を目指す。9月21日~24日。例会テン泊。上高地→涸沢→56の科尔→前穂→奥穂→涸沢→パノラマ新道→新村橋→上高地。

⑥ クライミング委員会 1-8月16日~18日3人(沢) 白山・大白水谷→転法輪谷下降。2-9月13日~16日/20日~23日4人(山・沢) 大天井岳・一ノ俣谷~二ノ俣谷継続遡行。

⑦ 坪山(締め挨拶) 夏山岩稜縦走アルパインとしたが、初心者者の夏山計画が集まりにくかった。これから夏山に行きたい人にも参加できるように窓口を拡げる。この取組みで安全登山に繋げたい。 以上

「2024 京都労山交流会」お知らせ②

担当会：明峯労山・洛中労山

- 開催日時 2024年11月9日(土)～10日(日)
- 場 所 グリーンパーク思い出の森 TEL 0740-38-2770
(滋賀県高島市朽木柏 341-3)
- 参加費 8,500円(講演会のみは500円)
- 宿 泊 10人用バンガロー(5棟に分宿・下の写真参照)
風呂・冷蔵庫・ガスコンロ付き
食器・調理器具はありません(食器は各自持参)
寝具付き(シーツは現地で借りられます)
- 会場まで ① 各自、車にて現地へ(てんくう温泉横駐車場)
② 湖西線・安曇川駅から送迎バスあり(要事前申込)
- 日 程
11/9(土) 午後：「講演会」(講演者：近日発表)
夕～夜：懇親会・「炭火焼ガーデン」BBQ
11/10(日) 交流山行 A：思い出の森～蛇谷ヶ峰往復
B：朽木スキー場～蛇谷ヶ峰往復
C：道の駅～雲洞谷山往復
- 参加申込書は会事務局に別途配信。9月30日締切
報告：連盟担当常任：大江(洛中)

宿泊棟(10人用)



京都府連盟登山道倒木整備 一大文字山を整備しよう

これまで登山道を使った感謝の念と恩返し、多くの登山者の安全のために

安祥寺上寺跡左俣登山道の整備も先月完了しました。これからは左俣から D 尾根のまでと D 尾根の一部、左俣から上寺跡へ行く登山道の整備を行います。それが終わったらいよいよ右俣の整備です。

倒木整備は楽しいです。是非、一度、参加してみてください。

これまでと同様に参加者の力量に応じて、力のある人はノコギリで倒木伐採、大木運搬、力のない人は小枝切り、小枝整理、声援と分担して行いますので誰でも参加できますのでご安心下さい。ケガをした場合は労山基金も対象になります。

登山道整備は京都大阪森林管理事務所の承認を得ています。

みんなで頑張ってお楽しみ安全第で整備しましょう。参加をお待ちしています。

雨天時等は安全のために整備を中止します。

★実施日： 8月17日（土） 8月18日（土） 9月7日（土） 9月8日（日）

雨天予想の場合は前日の19時までに判断して中止のみ連絡します。

★申し込み締め切り：実施日前の月曜日

★集合場所：JR山科駅改札口付近 9時00分（9時には出発します）

★参加申込先：連盟登山道整備担当 青山郁夫

080-3797-4392 携帯メール 2382m.ikuo1025@ezweb.ne.jp

留守宅（緊急連絡先）も教えてください。

★参加条件：労山基金を含め山岳保険加入者

★持ち物：カップ、ヘッドランプ、レスキューシート、タオル、安いゴム手袋（なければ軍手）、お茶、お弁当、救急薬品 ヘルメット（必携）、ノコギリ（なければお貸しします）、長靴（任意）、スパッツ、虫除けスプレー等

★共同装備：ロープ、ビニール紐、カラビナ、サムスプリント

★その他

- ・作業の前には危険予知を相互に行い安全作業に努める。
- ・木が1/3切れたら声を掛けること。1/3でも突然、木が切れ落ちることがあるので注意！
- ・木を切る前には切れた木がどちらに落ちるか、跳ねるか常に予想して退避方法を考えておくこと。
- ・まだまだコロナには注意が必要です。本人や同居家族で微熱、咳、喉の痛み等がある場合は参加を取りやめて直ぐに発熱外来に行ってください。



京都府連盟～安祥寺上寺跡左俣 登山道倒木整備報告～

連盟登山道整備担当：青山郁夫

2024年6月15日（晴れ）

やましな：青山郁夫 久子 右京：西村澄子 村上明彦 4名

山科8:53--9:24 林道入り口 9:33--9:52 南ルート取付きと途中整備--11:15D 尾根取付き整備 15:44--15:52D 尾根--16:15 林道合流--17:07 山科駅近く

2023年3月3日から始めた安祥寺上寺跡左俣の倒木整備も本日、遂に完了しました。みんなでやったねと万歳をしました。実に28回実施して延べ119人の参加でした。伐採した木も大小合わせて105本。この内、幹の太さが30cm以上が9本で最高は38cmもありました。みなさん、ありがとうございました。

下見に行った時は、登山道を覆う倒木の凄さを見て、本当に素人の私たちでこんなに多くの倒木が整備できるだろうかと思ったのですが少人数でもみんなで力を合わせて地道に続ければできるんですね。これでここを通る登山者も安心して歩けると思います。

次回からは今日の続きのD尾根までの登山道と左俣から上寺跡への北ルート、左俣の谷の中を整備しようと思っています。参加をお待ちしています。

今日は上寺跡南ルートに倒れている木を整備してからD尾根取付き周辺の最後の1本の長～い倒木と周辺の朽木、倒木の枝を整備しました。スッキリしました。今まで取付きが不明確でしたがこれで迷わず左俣からD尾根に行けます。ぜひ、一度、歩いて見て下さい。

安祥寺上寺跡左俣倒木整備完了に際して

村上さん

最高に嬉しい。大満足、達成感最高、最後に来て良かったです。

西村さん

何とか上までつながって良かったです。疲れました。

久子

ボランティア活動明けの作業なのですが、倒木整備の方が断然過酷。ようやくD尾根への取り付きまでできました。

郁夫さん

1年4ヶ月かかってみんなの力で左俣登山道がとっても綺麗にできて良かったです。



左俣登山道、最後の1本長さは20mはありました。

D 尾根取付きの周囲も整備した。



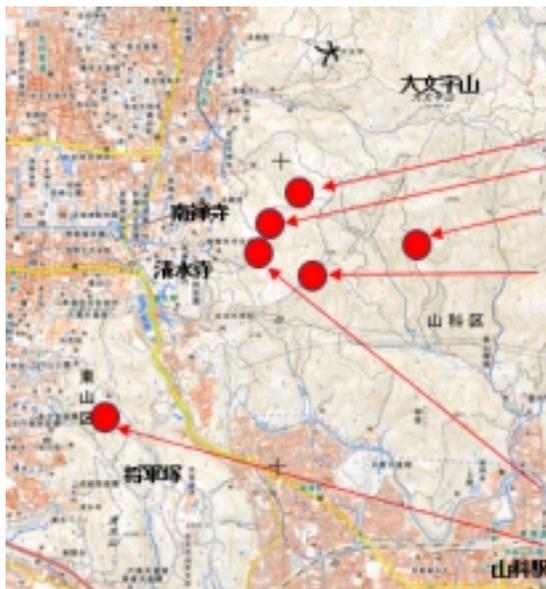
綺麗になったD尾根取付きの前でやったねと万歳。 取付きの上も歩きやすくした。

安祥寺上寺跡左俣登山道倒木整備 (2023/3/3—2024/6/15)

幹太さ:「極」40cm 以上 「太」20~40cm 未満 「中」10~20cm 未満 「細」~10cm 未満

実施回数	参加者	伐採本数	伐採した木の種別				伐採した幹の太さ				1回当たり	
			針葉	広葉	松	枯木朽木	極	太	中	細	参加者	伐採本数
28回	118人	105本	72	6	0	27	0	46	50	9	4.2人	3.8本

参加者は118名。やましなと右京が大半で、田辺山友会、西山、神戸みなと山友会、滋賀山友会からも参加がありました。



2019年からの整備箇所。一度、歩いて見て下さい。切った木や枝が綺麗に揃えてあります。

第10回～12回 能登半島地震被災者支援ボランティア報告

連盟ボランティア担当 青山郁夫

第10回 活動日：2024年6月5日 活動場所：七尾市（京都府取り組み）

参加者：やましな：青山郁夫 久子

行程：八条口から京都府のボラバスで金沢まで行き市内のホテル泊。翌日、七尾市に行き活動。帰りも京都府のボラバスで八条口に帰着

活動内容：1軒訪問 被災者宅の被災品被災物運び出し

第11回 活動日：2024年6月13,14日 活動場所：能登町内浦（石川県取り組み）

参加者：やましな：青山郁夫 久子

行程：志雄PA車中泊。日本航空ベースキャンプ場経由でボラバスで能登町内浦に行き活動。日本航空ベースキャンプ場泊。翌日も同様に内浦で活動して帰京

活動内容：3軒訪問 被災者宅の被災品被災物運び出し

第12回 活動日：2024年7月4日 活動場所：志賀町（石川県取り組み）

参加者：やましな：青山郁夫 久子

行程：大島キャンプ場泊で志賀町へ行き活動。帰りに石川県連事務所で県連会長他4名とボランティアについて懇談。徳光PAで車中泊して帰京。

活動内容：3軒訪問 アルバム,本を2階から1階に移動 冷蔵庫洗濯機を避難先に運搬 不要冷蔵庫、ブロックを仮置き場に搬送

青山久子

6月5日 京都府京都市主催のボランティアに参加。車内でリーダーからボランティア活動に関する注意事項等を伺ったのは有意義だった。京都から一緒に参加したというだけでも一体感が生まれる。京都で激甚災害が発生したら自分は何ができるだろうと考えさせられた。京都からの活動が継続されることを期待する。

6月13,14日 初めて日本航空ベースキャンプに宿泊。寮内の食堂や風呂を利用させてもらえてありがたかった。空調も効いているので、これからの季節も活用できそうである。内浦は小さな町であるが、倒壊家屋が多く散見され、被害の大きさに心が痛む。私でもできることがあるとすれば必ずまた訪れたい。

7月4日 能登半島の震災から半年が過ぎ、各地のボランティア募集の案内に休みの日が入り、募集人数も少なくなっている。活動の内容も家の中の大きな家具や電化製品等の搬出は落ち着き、外回りののがれきや引越しの手伝い等に変わってきている。初めて2月に訪れた志賀町も今は紫陽花の花が咲いている。ボラセン近くに仮設住宅が建ち、新しい生活の動きが感じられた。

青山郁夫

6月5日 初めて京都府のバスボラに参加しました。京都駅八条口では大勢の関係者に見送られて出発。同じ地域の人たちと一緒になのでみんなで頑張ろうと一体感が感じられました。また京都府の取り組みがあったら参加したいなと思います。

6月13,14日 初めて日本航空ベースキャンプ場に泊まって能登町内浦に行きました。内浦は震源地に近く倒壊した家々に心が痛みました。1軒のおうちは、これまで金沢の子どもの家に行っていたが長居はできないと帰ってきたとのことでした。これからここでどう暮らして行かれるのか心配でなりません。

7月4日 二階から一階へアルバムや本の移動。住んでおられたのは1人暮らしの80歳さんのおばあさん。私にはとても何回も二階へ登り降りには出来ない、気になっていたのを片付けてもらえて本当に良かったとありがたい言葉をもらいました。喜んでもらえて嬉しかったです。

活動の帰りに野々市市の石川県連事務所では会長、理事長他2名の方と懇談しました。石川県連はそれは凄い復興支援のボランティア活動をしていることを知りました。これからは石川県連が取り組んでいるボランティアにもお手伝いをして行こうと思います。(詳細については追って報告します)



6/4 京都駅八条口



このボラバスに乗って行きました。



被災品を運びました。



6/13,14 日本航空ベースキャンプ場



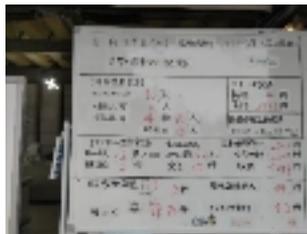
テント内です。快適でした。



今回も一杯積みました。



7/4 志賀町ボラセン。小さいです。



6/29 の実績が張ってありました。



右端の軽トラに乗りました。

若手クライマー・ハイカー JWAF フェス in みずがき実施要綱

「聴いて！出合って！語って！登って！瑞牆の2日間を楽しもう！」

実施日 2024年9月7日（土）～8日（日）

会場 瑞牆山荘（山梨県北杜市須玉町小尾 8861） TEL0551-45-0521 駐車場あり。最寄り駅「韮崎駅」から山梨峡北交通バスあり

規模 定員 40 名（対象・50 歳以下のハイカー・クライマー）

参加費 10,500 円（一泊二食付）

※2日目のワイド体験会、瑞牆山ピークハント企画は別途 2,000 円

※2日目の昼食（おにぎり）を希望する場合は別途 550 円

山紹介 瑞牆山（2230m）は奥秩父山系に位置する日本百名山。花崗岩で形成された岩峰群は、ロッククライミングの聖地として知られる。

〈北杜市公式サイト〉

<https://x.gd/J7GbR>

日程 9月7日（土）

14：30 受付開始

15：00 開会の挨拶、北平友哉氏講演会

16：30 講演会終了、休憩・入浴、17：30 夕食

18：30 ディスカッション「若手世代が山岳会に求めるもの」

※登山者アンケート実施中！→<https://x.gd/pvvp3>

20：00～21：00 懇親会

9月8日（日）

6：00 朝食 7：00 閉会の挨拶、解散（企画参加者除く）





講演会「山と私～百名山から世界最難のワイドクラックへ」北平 友哉（きたひら ゆうや）

1980年宮崎県生まれ。岐阜県高山市在住。初登山は2010年6月の伊吹山。北鎌尾根に憧れてクライミングの世界に入り、次第にワイドクラックに魅了される。17年末8月に10年間勤めた会社を退職し、ワイドクラックの聖地・米国ビデブーで38日間ただひたすらワイドクラックを登る。18年11月、国内最難のワイド「不動の拳」完登。

21年4月、カラファテ川上店で働き始める。24年1月に独立し、株式会社ルーフ・ロック設立、同4月「ROOF ROCK」開店。夢は「世界中のワイドクラックを登る」ことで、今年10月、世界最難の「Century Crack」に再挑戦する。

【“セカキタ”ワイドクラック体験会】（定員10名）※ビレイヤー3名が同行します

実施場所 瑞牆の詩エリア・ダルマ岩周辺

7：30 自然公園駐車場へ移動、ダルマ岩へ移動（約40分）

9：00～15：00 体験会→16：00 自然公園駐車場にて解散。

必要装備 ヘルメット、ハーネス、クライミングシューズ、長袖・長ズボン（破れても良い格好で）テーピングテープ（手足の保護）、肘・膝サポーター（あれば良い。百均で売っているものでOK）、ほか日帰り登山装備

講師 北平友哉氏

【篠塚優さんと登る瑞牆山パノラマコース】（定員10名）※補助3名が同行します
実施場所 カンマンボロン～瑞牆山山頂～富士見平小屋ルート

7：30 登山口（通称・チップの駐車場）へ移動、8：00 入山

9：00 カンマンボロン

11：30 瑞牆山山頂、昼食

12：30 下山開始（一般ルート）

14：00 富士見平小屋→15：00 下山後、瑞牆山荘前にて解散

必要装備 日帰り登山装備一式（熱中症対策を忘れずに）



〈プロフィール〉

篠塚 優（しのづか ゆう）

1985 年東京都生まれ。長野県松本市在住。高校時代に山登りを始め、だんだんと山にのめり込むようになった。大学卒業後の2008 年から3 年ほど登山ツアーを扱うアルパインツアーサービスに勤め、添乗で山に登ることもあった。同社退職後は6000m 峰のメラピークに出かけたり、南アルプスの荒川小屋でアルバイトをするなどして過ごす。その後、2012 年の冬にカモシカスポーツに就職。現在は松本店に勤務し、ジャンル問わず山で遊び続けている。

【注意事項】

- ・参加費は、当日受付にて現金でお支払い下さい。
- ・講演会は雨天決行です。2 日目の企画は雨天中止となる場合があります。
- ・解散後は、各自の責任にもとづいて行動して下さい。山梨県は条例により登山計画書の提出を義務づけていますので、入山する際は必ず提出して下さい。

【問い合わせ・申込み】

問い合わせ先 日本勤労者山岳連盟事務局 (jwaf@jwaf.jp) お

申込みはこちらのQR コードかURL にアクセス！

<https://x.gd/2oy0r>



安全登山のための登山道を考える ―減遭難問題と登山道法について― シンポジウム開催のご案内 と 参加申し込み方法について

主催 日本山岳SAR研究機構
共催 公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会
日本勤労者山岳連盟
協賛 日本山岳文化学会

安全登山を考える上で、「登山道問題」は最重要課題であるが、広大な山域における様々な地権問題、整備・管理問題を抱えているため、取り組みが難しい研究領域である。加えて、利用する登山者の能力と登山道とのリスク関係も、地形的特徴に伴う難易度判定が複雑なため、十分な研究がなされていないのが現状である。

登山道問題の研究は、幅広く5領域に分けられる。①登山道の法的解釈と整備・管理問題、②登山道のグレーディング、③登山道上で発生する事故のメカニズム、④登山道での遭難事故数を減らす減遭難活動、⑤登山道周辺域の自然保護問題の研究、がある。

これらの研究において、①の登山道のあり方については、登山道法研究会が中心に大きな成果を出している。②のグレーディングについては10県1山域に広がり、登山道の難易度を表す手法として定着した。また、③の登山道で発生する転倒・滑落事故の特徴とその対策は、事故の予防に有効なトレーニング法を提案している。

最後に、④登山道上での事故の発生を量的に減らす減遭難運動も日本山岳・スポーツクライミング協会JMSCAを中心に全国的な運動を展開していることから、4領域が当シンポジウムの中心課題になり得ると判断した。なお、⑤の登山道周辺域の自然保護に関しては、研究領域が広いとため、当シンポジウムでは取り扱わないこととした。

記

開催日時 2024年9月7日(土) 13:00～17:00

受付開始 12:30 より

開催場所 東京 日本勤労者山岳連盟 事務所1階会議室 (案内は次ページ)

開催形式 ハイブリッド(対面、Zoom併用)

参加申し込み

日本山岳SAR研究機構(IMSARJ)のサイト(<http://www.imsar-j.org/>)
あるいはIMSARJで検索)にて申し込んで下さい。最終期限9月6日。

参加費 無料

定員 会場 50名 Zoom 70名(容量制限のため打ち切ることがあります)

予稿集

講演予稿集はPDFファイルで作成し電子ファイルにて無料で事前配布します。
冊子体をご希望の方は、会場にて1冊500円で販売いたします。

プログラム

基調講演

青山千彰 安全登山から見た登山道問題の概観

第1部 登山道のあり方、登山道法

勝俣 隆 日米トレイル比較論～アメリカのハイキング・トレイルに見られる特徴

久保田賢次 登山道法研究会の現状と課題

溝手康史 登山道の管理責任と登山道の形態

第2部 登山道のグレーディング

杉田浩康 登山道のグレーディングの現状と課題

第3部 登山道における減遭難活動

齊藤篤司 中高年登山者の安全登山と山の歩き方（仮題）

中川和道 登山道下山中の事故分析と転倒滑落停止研究会の活動

大杖哲司 転倒事故防止と登山寿命延伸をめざす筋力トレーニングの効果

日本勤労者山岳連盟 事務所 案内

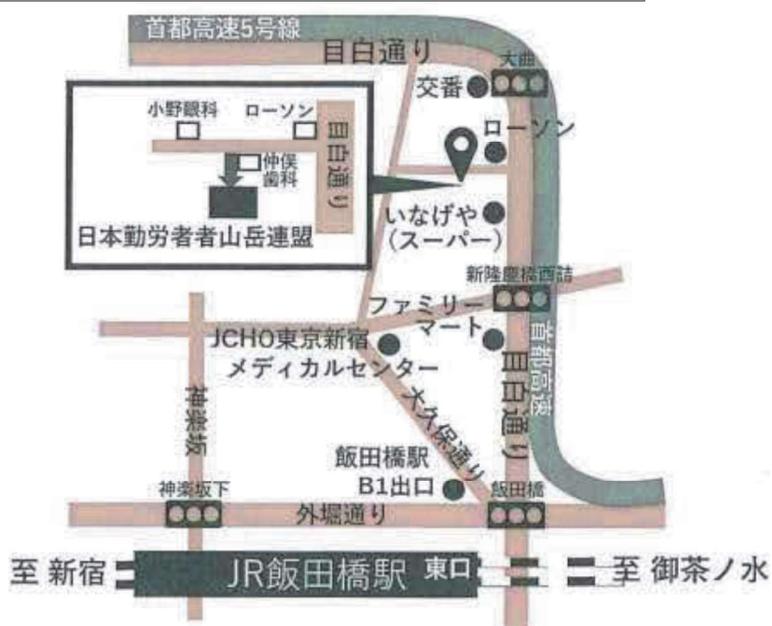
〒162-0814 東京都新宿区新小川町 5-24

電話 03-3260-6331 Fax 03-3235-4324

E-mail : jwaf@jwaf.jp

JR・地下鉄 飯田橋駅 下車 徒歩 10分

飯田橋駅から目白通りを江戸川橋方面へ歩いて 大曲バス停前のコンビニ(ローソン)の角を左に曲がり 約50m歯科医院の角を左に入る。



<コース&タイム>

17(金) 自宅～名神道～中央道諏訪湖 SA (車中泊)

18(土) 茅ヶ岳登山口より金ヶ岳周回～瑞牆山荘泊

19(日)

06:15 瑞牆山荘～信州峠を越えて御座山に向かう。峠を越えると広々とした畑が広がり牧歌的な景色に八ヶ岳が雲海の上に頭だけ出している。時間が経つにつれ少しずつ雲海が下がり山容が見えて来た。ナビに従い川上村迄来ると岩肌をむき出しにした山が天狗山 1882m で馬越峠 P に 2 台程停まっていた。更に立岩湖・立岩等の美しい紅葉を楽しみ乍ら南相木村～北相木村と進む。山口公民館前で右折し御座山⇒の看板を頼りに林道を進む。途中からかなりの悪路になりジープでしか進めない様な深いダボりに車底を擦り乍ら行く。やがて急坂でモビリオでは登れなくなりバックして駐車スペースを探す。

08:20 やっと 1 台分のスペースを林道脇に見つけ駐車。大急ぎで準備を整える。

08:22 発。山口登山口の地図の P はまだずっと先かと思ったら 5 分程先に有った。P と言っても少し広くなっているがあまり利用されないのか小木や草が茂っている。暫くは旧林道の様な登山道で倒木が多く草も茂り荒れている。やがて本格的な登山道になりこちらも倒木が多く道が寸断され巻き道が付いている。薄い踏み跡を捜し乍ら歩く。1・2 度迷う。黄色や赤色のテープが巻いてあるが少ない。かなりの急登で汗をかきながら登る。

09:41 南の鞍部、栗生峠からの道と合流する分岐。栗生峠から来た人と出会う。途中数人とすれ違ったようだ。避難小屋泊らしい。

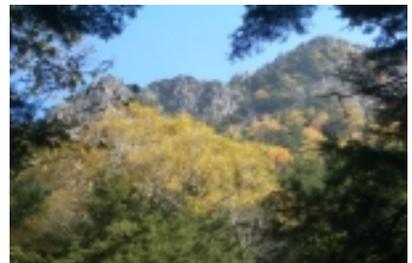
09:41 避難小屋。10 個以上のザックが小屋の周りに置いてある。山頂へピストンしている様だ。

09:51 御座山山頂。そう広くない山頂は 360 度の眺望。瑞牆山～金峰山～甲武信岳へと連なる奥秩父の山々や南アルプス・八ヶ岳等を展望。浅間山辺りは雲が多く山頂を見るだけで煙も見えない。

10:10 山頂を後に下山を急ぐ。下りは流石に楽で木の間に御座山を写し乍ら下る。

11:16 P 着。このルートはメインではない様で結局誰とも会わなかった。多くが白岩登山口から登っている様だ。

11:21 P 発～小海～八千穂高原と落葉松の紅葉を楽しみ乍ら無事帰宅。



No.142 白石山(和名倉山) 2036m 2008.10.31(金)~11.3(月)

11.1(土) 民宿見晴らしP 登山口より往復 北関東単独山行

<コース&タイム>

10.31(金) 19:35 自宅発~23:09 諏訪湖 SA(夕食・仮眠)

11.1(土)

05:14 起床~勝沼 IC~R411~藤尾~林道~07:35 民宿見晴らしP(朝食)

08:00 P発~15分前に出発した2人を追う様に将監小屋を目指し牛王院下を過ぎ富士山を見乍ら幅2m程の歩き易い林道を行く。落葉松の紅葉が美しい。

08:37 ムジナの巣。組石の水場。この先数か所小さな水場が点在。

09:00 小休止。衣服調整。05~

09:15 将監小屋着。宿泊手続きを済ませ主荷物を置いてデイパックの軽装で山頂へ向かい山荘前の草の斜面を登る。

09:30 牛王院平。三ノ瀬への尾根道の分岐。笹原の中に落葉松が点在。明るい林間の緩やかな道。

09:34 山の神上。唐松尾山~雁坂峠~甲武信岳への分岐。そちらへは広く緩やかだが白石山へは狭い急登。樹林帯の中を登ると笹原の中に落葉松が点在。全く標識が無いので分からないがリンノ峰辺りか?下り斜面の笹原と落葉松の黄葉とのコントラストが美しい。この辺りから稜線に岩場が現れ石楠花が群生。

10:20 東仙波 2003m。僕より15分早く出発した2人にやっと追いつく。この先も石楠花が多くやがて見晴らしの良い岩場。吹上ノ頭辺りか?甲武信岳眺望。川又分岐辺りの樹林帯は落葉でルートが覆われ不明瞭で迷いそうだ。

11:10 二又分岐。ここで登山道は大きく右へ曲がる。落葉松の中を行くとMTBを担いだ人。「バカの見本です」と言い乍ら笑っている。突然開けた斜面は落葉松が伐採されそこだけポッカリ穴が開いた様になっている。

11:23 白石山山頂。樹林の中で全く見晴らしのない直径5m程の場所。

11:27 少し戻った別の伐採地で昼食。陽だまりが心地良い。

11:45 二瀬分岐。大伐採地を過ぎた所で先程の2人とすれ違う。

12:05 吹上ノ頭。甲武信岳~金峰山~瑞牆山眺望。好天に恵まれ遠く迄良く見える。

12:51 東仙波。幾つかの結構急なピークを登り下りし乍らで汗をかく。

13:41 山ノ神上。4~5人のグループとすれ違う。他に手ぶらの人も数人。小屋泊らしい。

13:46 牛王院平。

13:56 将監小屋着。ストーブを囲んで暖まり乍らビール・焼酎を飲んで山の話で盛り上がる。

11.2(日)

04:40 起床。外は満天の星。小屋の上にオリオン座。労山割引は5人以上で出来ず。

05:33 小屋発~06:00 ムジナの巣~06:33 P着~雲取山を目指し三条の湯へ向かう。



8月号案内

表紙の写真 表紙の言葉

菊沢 政夫さん (WAO 亀岡)

大岩山(南丹市)のシャクナゲ

8年前、京都労山50周年の記念誌に京都100名山を選んで各会が紹介記事を書くことになって、WAOの中で私が大岩山を書くことになり調べるために登ったときの1枚です。全く知識のない山で、まわりの人に尋ねてもわかりやすい情報は少なかったため地図と紹介の載っている本(「京都丹波の山」)を参考に協力してくれる会のメンバーの方と2人で行ってみることにしました。2回目に行ったとき、ようやく頂上までたどりつけたのとイワカガミの群生やこの写真のシャクナゲに出会い心を癒されました。それ以外にもアプローチの道も緑がととてもすばらしくていいところだと思いました。それでも、本に載っていた西尾根—肱谷峠—鉄塔登り口と周回のコースは2年がかりでようやく見つけることができたとても苦労した、しかし思い出深い山になりました。



(菊沢 政夫)



<お知らせ>

「提案 情報 投稿」原稿を募集しています。連載企画の内容でもOKです。労山会員の方やお知り合いで連載を引き受けてくださる方をご紹介ください。

【投稿先】 京都府勤労者山岳連盟 機関誌委員会 高野 寛

メールアドレス hirossan-1954@nifty.com

*原稿サイズ B5版 1行約36字 1頁約36行

*字体 MS明朝体 11P 余白上、左、右各20mm 下20mm

2024年 京都府連盟 月間予定表

8月 (葉月・AUG)		
1	木	
2	金	
3	土	能登復興支援ボランティア
4	日	能登復興支援ボランティア
5	月	自然保護委員会
6	火	事務局長会議
7	水	
8	木	
9	金	
10	土	
11	日	山の日
12	月	振替休日
13	火	
14	水	
15	木	
16	金	
17	土	大文字登山道整備
18	日	大文字登山道整備
19	月	京都労山印刷 ハイキング委員会 遭難対策委員会
20	火	
21	水	
22	木	
23	金	
24	土	
25	日	
26	月	常任理事会
27	火	気象勉強会
28	水	女性委員会
29	木	
30	金	
31	土	

9月 (長月・SEP)		
1	日	
2	月	自然保護委員会
3	火	事務局長会議
4	水	
5	木	
6	金	
7	土	大文字登山道整備
8	日	大文字登山道整備
9	月	常任理事会
10	火	
11	水	
12	木	
13	金	
14	土	
15	日	
16	月	敬老の日
17	火	京都労山印刷 ハイキング委員会 遭難対策委員会
18	水	
19	木	
20	金	やまびこ利用日
21	土	
22	日	秋分の日
23	月	振替休日
24	火	常任理事会 気象勉強会
25	水	女性委員会
26	木	
27	金	
28	土	
29	日	
30	月	